

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(有玉小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 子供たちとの交流・話し合いの場を持つとともに、教育現場の先生方との意見交換を通じて熟議を深める。
- 学校支援活動における学校・地域・家庭の役割分担を明確にして、連携強化に努める。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長から学校運営構想、いじめ防止基本方針、家庭学習の手引きの説明を聞いて、「できた」「ありがとう」「やってみよう」「つなげよう」の合言葉に基づく基本方針の具現化を理解して、熟議を深めることができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

授業参観を通じて、子供たちの様子が全体として落ち着いていて、基本方針が着実に実践されていることが分かった。

さらに、授業参観「有玉地区、有玉小学校の未来について考えよう」では、地域の果たす役割の大きさを改めて認識し、熟議を深めることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校ホームページ、「有玉小地域だより」、CS通信「一緒に作ろう！CS」で情報発信を行った。今後は、自治会組織を通じた関係資料の回覧などで協議会活動の周知に一層努めたい。

また、有玉っ子サポーターによる学校支援活動は、運営協議会の間接的周知につながっていると考え

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 子供たちとの話し合い機会を増やし、委員自身の教育現場への理解向上を図る。
- 学校支援活動における学校・地域・家庭の役割分担を明確にして、連携強化に努める。